

👉 時間割を作るその前に

3. 時間割作成の注意

時間割を作成するために知っておくべきこと

👉 1つの学期に登録できる単位数

1つの学期で登録できる単位の上限は**20単位**です。ただし、次の場合は20単位を超えて登録することができます。

1. 2年次対象の専攻系基礎演習
2. 体育実技（1単位に限り）
3. 専攻専門教育科目に含まれるスポーツ実技科目（1単位に限り）
4. 集中講義および教職に関する科目

👉 開講学期と時期

科目は、前期のみ開講されるもの、後期のみ開講されるもの、前後期とも開講されるもの、さらには、隔年や数年置きにしか開講されないもの、あるいは集中講義など、**開講学期・時期がさまざま**です。自分の履修計画に沿って、**履修したい科目がいつ開講されるのか**を確認した上で、時間割を作成するようにしてください。

開講学期は、Web上で公開されている『授業時間割表』に掲載されています。

また、集中講義の日程は不確定で、中には直前にならなければ確定しない科目もあるため、随時教務課で情報収集を行ってください。日程については、確定次第掲示が出され、ほとんどの場合が予約登録制ですので、集中講義を受講したい場合は速やかに教務課にて登録手続きを行ってください。



👉 受講年次

科目は、その内容にしたがって履修にふさわしい年次（学年）が決まっています。これを「**受講年次**」といいます。登録したい科目の受講年次が自分の年次より上の場合は登録することができません（下の場合は登録できます）。講義内容はその年次を対象に作られていますので、特に必修科目の場合はできるだけその年次に履修することが望ましいです。

受講年次は、この履修ガイドの「科目一覧表」（19～33ページ）、「VI 学則・諸規定」、Web上で公開されている『授業時間割表』に掲載されています。

👉 前提科目・前提条件とは？

ある科目を履修するために、知っておかなければならない分野や科目を指定し、修得していなければならない科目を「**前提科目**」あるいは「**前提条件**」といいます。例えば、「インターンシップ実践」は「インターンシップ基礎」を修得していなければ登録することができない、などといった制度です。自分が取りたい科目にこの前提科目や前提条件がある場合は、その前提科目を修得した後に取るようにしてください。

なお、同時履修（同じ学期に、当該科目とその前提科目を取る）が認められる場合もありますので、その科目の担当教員に確認をとるようにしてください。

前提科目は、この履修ガイドの「科目一覧表」（備考欄）、オリエンテーション資料などに、掲載されています。

